

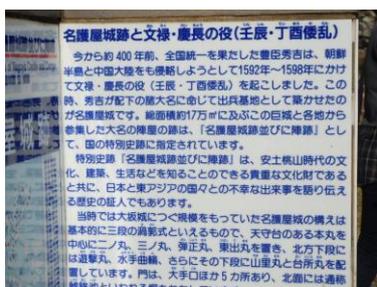
名護屋城 佐賀県唐津市鎮西町名護屋 1931-3

豊臣秀吉が唐入り（文禄・慶長の役）の際にその前線基地として築いた城。規模は当時の城郭(17 万㎡)では大坂城に次ぐ広大なものであったといわれています。周囲には城下町が築かれ最盛期には人口 10 万人を超えるほど繁栄しました。徳川家康や上杉景勝、前田利家など名だたる大名の陣屋跡が残っており特別史跡に指定されています。秀吉の死後、名護屋城は廃城となり、その際に多くの建物は寺沢広高によって唐津城に移築されたと伝わっています。また、大手門は伊達政宗に与えられ仙台城に移築されたと伝わっています。

(パンフ)



城周辺の地図



説明版



東出丸



大手門石垣



本丸への参道



石柱



天守台跡地



遠く朝鮮への道



石垣